

■伊藤委員及び木村委員から事前に頂戴した御意見について

「資産マネジメント第3期実施方針案」について、1月11日（火）に木村委員へ、1月13日（木）に伊藤委員へ説明し、御意見をいただきました。（⇒は事務局において行った回答、修正内容となります。）

<木村委員>

- 市民へのアピールの仕方（保有面積縮減に向けたメッセージ）について、トーンを強めたほうがよい箇所がある。例えば、市の人口全体でみた時、2030年以降に減少に転じる見込みだが、第3期取組期間でも終盤の時期に当たるため、ややインパクトに欠ける。
そこで、2025年より減少に転じる「生産年齢人口」にスポットを当てた記載を加えた方がよいのではないか？

⇒P6に「生産年齢人口」に関する記載を追記しました。

- P15の図表2-2-3（公共建築物床面積・市域面積の指定都市間比較）及び2-2-4（市域1km²当たり公共建築物床面積の指定都市間比較）について、他都市と比べ、こういった施設が市域面積の割に多いのか？

⇒他都市の床面積データについて、分類ごとにある程度切って分析することが可能かどうか確認し、分析可能な場合、情報を整理し別途御報告いたします。

- P18の図表2-2-7（本市公共建築物の庁舎等建築物、学校施設、市営住宅の年代別建築面積一覧）とP73（第4章の（7）市営住宅施設）を見ると、学校以上に、耐用年数が迫ったもの（1970年代に建築したもの）が市営住宅には多く、それにどう対応するか（修繕等にかかるコストをどう平準化していくか、など）について、何かしら記載する必要があるのではないか？

ちなみに、市営住宅の耐用年数70年について、予防保全（計画的保全）を織り込んだものとして捉えてよい？

⇒耐用年数が迫った市営住宅への対応に関する記載について、P73に追記しました。なお、耐用年数70年については、計画的保全を織り込んだものとして捉えて差支えありません。

- 橋りょうの予防保全をどう図っていくのか？来るべき修繕更新費のピークに向けて、どうコストを平準化していくのか？

⇒P79-80の橋りょう施設の今後の方向性に関する記載の中に内容を追記しました。

● 税金に関する記載がないのは気になるところ。

⇒ 資料編 P123 に、収支フレームを参考抜粋し掲載いたします。

● P50 のプール機能の最適化について、プールは㎡数に与えるインパクトが大きいものと考えられるので、「耐用年数を超過している 94 施設のプールのうち、これ位は最適化できる（減らせる）算段である」等の見通しについて、第 3 期実施方針に謳う必要はないが、参考として整理しておく必要がある。

⇒ 個別の調整事項になってくるため、具体的にどのプールを最適化するかは現状詰め切れていない状況です。教育委員会等の関係部署と今後調整していきたいと考えております。

● P53 の図表 3-2-10（計画的な保全によるライフサイクルコストの平準化イメージ図）について、予防保全（グラフの実線部分）についてはもう少しコストがかかりそうな印象があるため、念のため確認しておくとよい。

⇒ 図表作成時、国土交通省監修「建築物のライフサイクルコスト」を基にシミュレーションしており、一定程度適切にグラフ作成できていることを確認いたしました。

● 川崎市の取組の目玉の一つである「キングスカイフロント」については、実施方針上で記載しておく必要はないのか？「キングスカイフロント」における多くの施設は借受施設かもしれないが、橋りように目をやると「多摩川スカイブリッジ」という重要度の高い（話題性のある）施設も含まれているため、何らかに記載してもよいのでは？

⇒ 第 3 期実施方針上、個々の借受施設について記載することまでは要しないものと考えられますが、「多摩川スカイブリッジ」については、P19 のインフラに関する記載の中に内容を追記しました。

<伊藤委員>

- P44 の図表 3 - 2 - 5 (地域ごとの資産保有の最適化を検討する場合のフロー) と P59 の図表 3 - 2 - 1 5 (施設の長寿命化の取組フロー) との関係性が分かりにくい。両方のフロー同士で一部要素が重なっている。これまで取り組んできた長寿命化のやり方(「長寿命化対象施設」に対する従来の長寿命化の取組)も一方でそのまま残り続けるのか等、長寿命化の検討プロセスがどう整理されているのか分かりづらい。

最適化の検討と別建てで長寿命化の検討というものがあるということであれば、最適化と長寿命化の両方のプロセスが見えやすくなるような記載にしてほしい。

⇒本市施設のうち、「長寿命化対象施設」について図表 3 - 2 - 1 5 (施設の長寿命化の取組フロー) のプロセスに沿った検討を行うこととなり、それ以外の施設については図表 3 - 2 - 5 (地域ごとの資産保有の最適化を検討する場合のフロー) のプロセスに沿った検討を行うことになるものと想定しております。

そうした建付けが分かりやすくなるよう、P59 の図表 3 - 2 - 1 5 (施設の長寿命化の取組フロー) について必要な修正を行いました。

以上